

公園周辺の見どころ 謎の石造物

飛鳥地域には、製作年代や用途不明な不思議な石造物が多くあります。



国営飛鳥歴史公園を取り巻く王家の谷「八角墳」と皇極(斉明)天皇ゆかりの地

天智天皇 天武天皇 額田王

香具山は畝火雄雄(をを)しと耳梨と相争ひき神代よりかくにあるらし古も然にあれこそうつせみも妻を争ふらしき
中大兄皇子

香久山は畝傍山を惜しいと耳成山と争った。神代からそうであるらしい。そして、いにしえもそうであるからこそ現代も妻を争うのだろう。

皇極(斉明)天皇が祭祀を行った場所と言われる。

持統天皇は、夫でもある天武天皇と共に律令国家の形成に励み、今は、天武・持統天皇陵(八角墳)に眠っている。

天武・持統天皇陵

牽牛子塚古墳

牽牛子塚古墳(八角墳)には、皇極(斉明)天皇とその娘の間人(はしひと)皇女(天智天皇の妹であり、天武天皇の姉)が埋葬され、越塚御門古墳には、大田皇女(持統天皇の姉)が埋葬。

皇極(斉明)天皇
天智天皇 間人皇女 天武天皇

中尾山古墳

中尾山古墳(八角墳)には、文武天皇が埋葬されている可能性が高いと、昨今の研究で判明。付近には文武天皇陵が存在。
文武天皇は大寶律令を制定(701)。

皇極(斉明)天皇を東アジアでの存在感を高めるべく飛鳥各地に次々と宮殿を造営し、外国からの使者をもてなすための迎賓館や庭園も造営。

蘇我馬子が埋葬。

乙巴の変
入鹿、覚悟!

中大兄皇子(後の天智天皇)は、蘇我氏の専横を憂慮し、王権を奪還すべく、中臣鎌足と手を組み蘇我入鹿を斬殺(645)。

白村江の戦い
那津 難波津 飛鳥 熱田津

友好国の百済が唐と新羅の連合軍に滅ぼされ、百済再興のため進軍(660~663)。(日本は敗れた。)

古墳 飛鳥地域には、6世紀末~8世紀にかけての終末期の古墳が多数あります。

遺跡 かつての人々の生活の跡が残されています。



天武・持統天皇陵 高松塚古墳 都塚古墳 牽牛子塚古墳 飛鳥宮跡(伝飛鳥板蓋宮跡) 飛鳥水落遺跡 川原寺跡 檜隈寺跡(於美阿志神社)